

各位

## <静岡県西部初！遠州鉄道が大型EVバスを導入>

遠州鉄道株式会社（本社：浜松市中央区旭町、社長：丸山晃司）は、大型EVバス1両を導入し、2026年3月3日（火）より運行を開始します。車両外観は、静岡文化芸術大学の学生がデザインしたものとなっており、3月2日（月）にお披露目式を開催いたしました。

下記が詳細となります。

記

### 1. EVバス導入の経緯

遠州鉄道株式会社では、大型路線タイプの電気バス（EVバス）を導入し、2026年3月より運行を開始いたします。EVバスは、バッテリーに蓄えた電気を使ってモーターで走行するため、走行時に化石燃料を使用せず、CO<sub>2</sub>排出量の削減に貢献します。政府が掲げる2050年カーボンニュートラルの実現に向け、2030年度までに保有車両の約5%（約17両）をEVバスへ順次切り替える計画を進めております。

今回新たに導入する車両は、BYD製の大型バス「K8 2.0」です。技術進展の早いEV車両の中で、日本国内での導入実績、バッテリー容量に起因する航続距離、乗務員の運転感覚等を踏まえ、過去2年にわたり他メーカー・他事業者様の事例も含めて比較検討を重ねたうえで決定いたしました。エンジン音や振動が少ないことから、車内外の騒音が抑えられ、より静かで快適な乗り心地が期待できます。車内にはスマートフォン充電用USBポートを備え、通勤・通学やお出かけの際にも便利にご利用いただけます。加えて、車両に蓄えた電力を活用することで、災害時などに非常用電源としての活用が期待される点も、EVバスの大きな特長の一つです。

当社は今後も、これまで取り組んできた安全対策を基盤に、環境負荷の低減とサービス品質の向上の両立を目指し、地域の皆様に信頼される公共交通として取り組んでまいります。

## 2. EVバスの概要

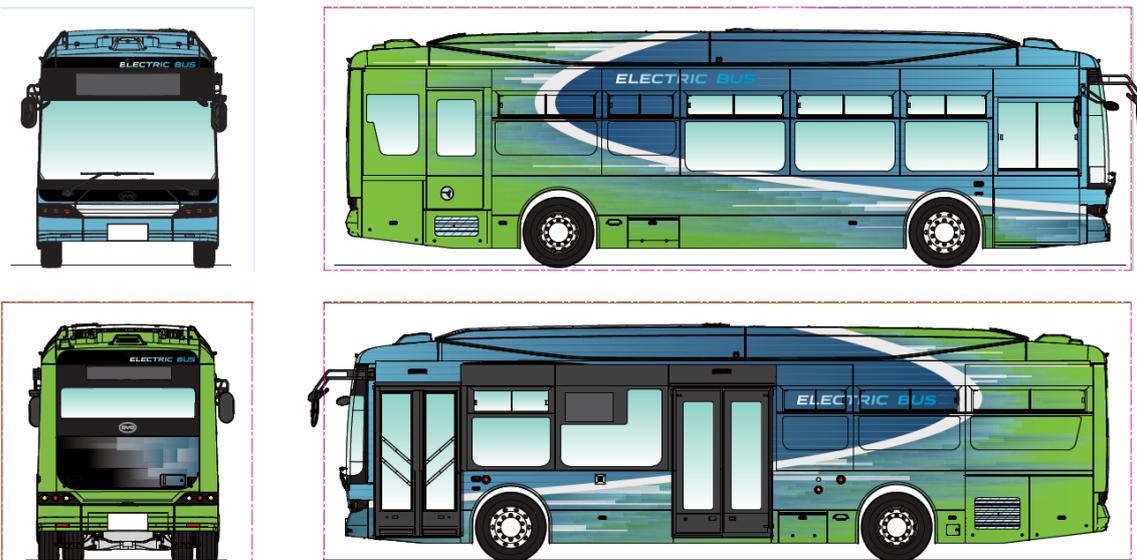
- (1) 運行開始日：2026年3月3日（火）
- (2) 導入営業所：遠州鉄道 三方原営業所
- (3) BYD製 大型EVバス「K8 2.0」 主要諸元
  - 車 長：10,500mm
  - 車 幅：2,495mm
  - 車 高：3,300mm
  - 乗車定員：78名
  - バッテリー：314kWh リン酸鉄リチウムイオン
  - 一充電走行距離：240km

## 3. 車両デザインについて

地域の皆様に公共交通や脱炭素をより身近に感じていただけるよう、静岡文化芸術大学の学生を対象にコンペ形式で募集し、社内審査を経て決定いたしました。コンセプトは、EVバスの「未来感」と、当社が80年以上培ってきた「遠鉄バスらしさ」です。

■遠州鉄道 大型電気(EV)バス K8 2.0 2025.8.27作成

デザイン用バス図面



### 静岡文化芸術大学 デザイン学部デザイン学科 2年 山本 修平さん

EVバスの持つ先進性がシームレスに地域に馴染み、持続可能な都市インフラとなって欲しいという意図を含め「未来に繋ぐ」というコンセプトを立てました。グラフィックは浜松に吹く強い風をモチーフとし、後ろから前にリズムを作ることで伸びやかさを表現しました。また、バスがグリーン社会を形成していく様子、街に自然と馴染んでいく様子をグラデーションにより抽象的に表しました。そしてカラーについては、「地域とともに歩む未来のカラー」をテーマに、グリーン社会を象徴するようなみずみずしく爽やかなイメージの緑と未来感や先進性を表し、明るくキラキラとしたイメージの青を使用しました。全体を通し、グラフィックと色の組み合わせによって先進性と親しみやすさの絶妙なバランスを狙いました。

#### 4. お披露目式について

3月2日（月）に遠州鉄道三方原営業所にて、遠鉄 EVバスお披露目式・試乗会を行いました。



出席者：浜松市 副市長 内藤 伸二郎  
静岡文化芸術大学 デザイン学科 2年 山本 修平  
BYD JAPAN 株式会社 西日本バス営業部 部長 森 昭夫  
遠州鉄道株式会社 代表取締役 丸山 晃司

※順不同・敬称略

## 5. お問い合わせ先

本リリースの内容に関するお問い合わせ

遠州鉄道株式会社 運輸事業部計画課

以上